

## 19 天満神社

寛永年中(17世紀前半)に酒井直次が左沢楯山城から現在地に移築し、寛政6年(1794)に社殿が再建されたと伝わります。近世には囃子屋台やシン踊りが奉納される祭礼、左沢領の天候祈願などが行われました。



左沢内町

## 20 實相院

左沢大江氏により開かれた真言宗の寺院で、近世、楯山の麓・元屋敷から現在地に移転したと伝わります。すぐ西隣には天満宮の本殿・拜殿が接しており、神仏混淆の名残を感じさせます。〔左沢十か所参り 第五番札所〕



左沢内町

## 21 神明社

社伝によれば寛永6年(1629)城の北東部にあたる現在地に、鬼門鎮護を祈願して造営されたと伝わります。現在は左沢13区に伝わる小漆川奴が奉納されています。L字型に曲がった参道の最も奥に神明造の本殿が建てられています。



左沢小漆川

## 22 八幡神社

左沢楯山城を築いたとされる左沢元時が城内に勧進し、寛文4年(1664)、酒井直次により前田に遷座したと伝わります。明治6年郷社となり、同16年に左沢代官所の米蔵があった現在地に移転しました。



左沢横町

## 23 医王寺薬師堂

薬師堂は江戸時代の「左沢絵図面」などにも描かれています。現在の建物は元禄年間の建築を、大正3年に寒河江の西根から移築したものと伝わります。医王寺は天台宗の寺院で薬師堂の別当を務め、江戸時代は内町に所在しました。〔左沢十か所参り 第六番札所〕



左沢薬師堂

## 24 巨海院

巨海院は曹洞宗の寺院です。寛永4年(1627)に左沢楯山城の麓から小漆川の現在地に移転したと伝わる左沢藩の菩提寺で、酒井直次と夫人の墓が建てられています。金毘羅堂には航行安全を祈願する絵馬が納められています。〔左沢十か所参り 第七番札所〕



本郷己古城裏

私たちが案内します!!

## 大江町観光ボランティアガイドの会

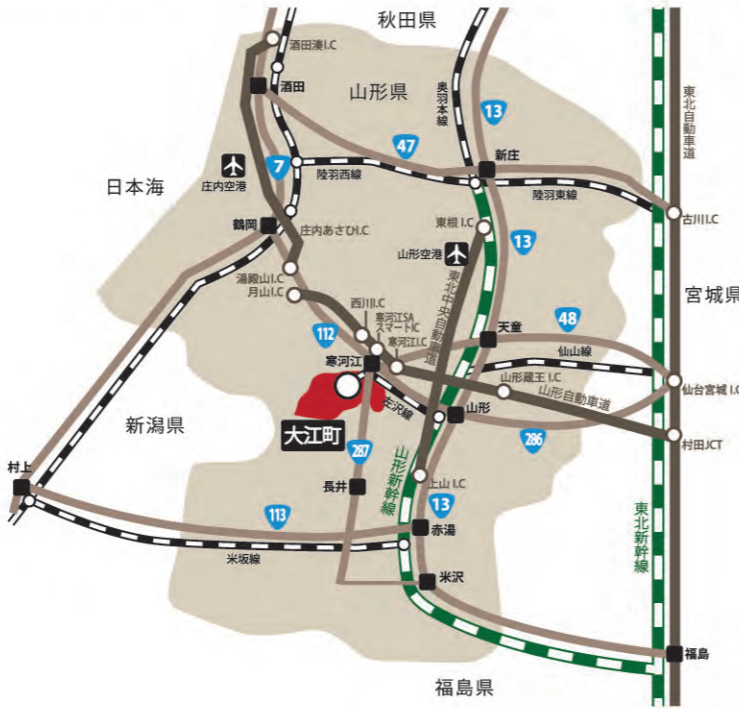


私たち「舟唄の里案内人」が、最上川舟運を偲ぶ町並みや朝日連峰の麓にある古寺溪谷「神通峡」など、町の観光スポットを地元の言葉で人情味あふれるガイドを行います。

ガイド1名につき  
半日 2,000円 1日 4,000円

大江町ボランティアガイドの会 TEL. 0237-62-2111 (代)  
お申込みは大江町観光物産協会へ

## 交通アクセス



自動車	東京 20km 30分	浦和 260km 3時間	福島駅 35分	村田JCT 67km 45分	山形自動車道 50km 35分	仙台宮城IC 67km 45分	寒河江I.C 100km 2時間	国道 9km 15分
自動車 (ETC車載器搭載車)	東京 20km 30分	浦和 260km 3時間	福島駅 35分	村田JCT 67km 45分	山形自動車道 50km 35分	仙台宮城IC 67km 45分	寒河江SAスマートIC 100km 2時間	国道 6km 9分
鉄道	東京駅 2時間	東北新幹線	仙台 1時間	山形駅	山形新幹線 2時間30分	JR左沢線 45分	左沢駅	
飛行機	東京 1時間	JAL 1時間	山形空港	山形空港	JAL 1時間15分	山形空港	山形空港	30分

お問い合わせ **大江町観光物産協会**  
〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢882-1  
TEL. 0237-62-2111 (代) FAX. 0237-62-4736  
旬の町大江ホームページ / <http://www.town.oe.yamagata.jp/>  
大江町観光物産協会ホームページ / <http://oekanko.jp/>



重要文化的景観のまちを歩く

## 1 光明院

寛文8年(1688)に開山したと伝わります。原町通りから西に延びた参道の奥に大師堂が配されており、背後の道路は戦後開かれた道路ですが、治道から望める四角錐屋根は、一つのランドマークとみることができます。〔左沢十か所参り 第二番札所〕



左沢原町

## 2 大瀧山不動尊

楯山の麓・元屋敷に所在します。「波切不動」と呼ばれ、舟方衆の信仰を集めました。堂内には左沢の船乗りなどが奉納した宝剣額が複数納められています。創建年代は不明ですが、元禄年間ころから信仰があったようです。〔左沢十か所参り 第一番札所〕



左沢元屋敷

## 3 法界寺

左沢山法界寺は浄土宗の寺院です。松山藩の藩主の菩提寺で、慶安元年(1648)に開かれました。正面の本堂は江戸時代の建築と推定され、当時の町の北端にあたる立地が江戸時代の町の広がりを伝えます。〔左沢十か所参り 第四番札所〕



左沢前田

## 4 金子家

木屋金子家は、庄内の酒田から五十集物や荒物を積み上げさせていました。宝暦7年(1757)以前に平塩(寒河江)から移ったと伝えられ、近世には町の検断、藩の御用達を勤めました。母屋や門が明治年間の竣工とされます。



左沢原町

## 5 ヤマト二菊地商店

ヤマト二菊地家は明治30年ころ下北山(大江町本郷)の山ト菊地家から原町に分家し、酒田にある本家支店との間で米や塩を取引していたといわれます。原町通りに面した商店の妻部分には4段に重なる梁が見られます。



左沢原町

## 6 清野家

会津屋清野家は原町通り沿道最大級の商家で、近世には造酒屋を営み、華道と茶道の家元であったと伝わります。木造2階建てで明治期の竣工とされる母屋や大きな鬼瓦を頂く店蔵、江戸期の竣工とされる土蔵などが並びます。



左沢原町

大江町観光物産協会

### 13 高取家

高取家は約270年前に左沢へ移り、青苧などを集めて問屋へ卸していたと伝わります。明治16年から昭和末まで味噌・醤油の醸造業を営み、七軒地区などへ販売していました。母屋は昭和12年の建築です。



左沢横町

### 14 林武一郎商店

林家はかつて大工を生業とし、明治28年から八百屋、現在は酒屋を営んでいます。昭和11年竣工とされる店舗は切妻造り平入で、2階部分が大きくセットバックし、側面が下見板張りの典型的な近代商家の形式です。



左沢内町

### 15 山家家

山家家は江戸末期から明治初期に内町の検断を勤めており、天保12年(1841)、山形の国分寺薬師堂再建費を村山郡内の青苧・紅花商人に募った文書などに名前がみられます。明治5年には左沢の初代郵便局長になりました。



左沢内町

### 16 旧廣野屋

廣野家は近世には呉服(衣料品)の販売を行っていたと伝わります。現代の建物に改修された店舗に続き、丸窓や楕形の欄間窓が配された母屋と切妻屋根の伝統的な形態を伝える土蔵が並びます。



左沢内町

### 17 薬の高取藻江堂

高取家が当地に薬局を開局したのは大正6年で、「藻江」は最上川の呼称からとったと言われます。店舗は昭和11年大火後のものと伝わる店蔵で、現在の新しい建物の通りに面した部分は外壁部分だけが改修された「看板建築」の好例です。



左沢内町

### 18 富士屋

富士屋文治はかつて青苧商いに携わり、江戸時代から菓子製造業を生業としたと伝わります。現在も菓子の販売業を営んでおり、敷地手前から店舗・住宅・土蔵が並びます。池通り沿いの池を配した庭園がお屋敷の風格を呈します。



左沢内町

# 景観ナビMAP

歴史を伝える社寺、短冊地割の商店や土蔵などの重要な構成要素があります。



### 7 五十嵐家

五十嵐家はかつて炭を販売しており、通りに面した部分は店舗であったといえます。明治41年竣工とされる母屋は、2階は漆喰仕上げで格子戸が付き、1階北側は下見板張りになるなど様々な意匠を持つ独特の建物です。



左沢原町

### 8 片桐家

片桐家の母屋は、近代、料亭「錦屋」として使用された建物で、明治36年の竣工とされます。元々店舗として使用されたものが仕舞屋となり住宅建築として使用されたもので、通りに面して妻面を見せる入母屋の屋根などが旧状を伝えます。



左沢原町

### 9 菊地家

菊地家は昔、青苧の取引業を営んでいて、青苧を仕入れて京都に運び、京都から生糸を買い付けて販売していたと伝わります。通りに面した店蔵は、1階が格子戸、2階が漆喰仕上げで明治期の竣工とされます。



左沢原町

### 10 菊地糰屋

菊地糰屋は江戸時代から続く、西村山郡のなかでも歴史ある糰屋です。現在の当主で11代目と伝わります。敷地内には、奥に位置する味噌蔵を含めて2棟の土蔵があり、通り沿いの母屋は大火後の昭和11年の建築です。



左沢原町

### 11 上田家

上田家はかつてそば屋を営んでいました。現在の当主で16代目と伝わります。通りに面した母屋は大火後の昭和13年の建築で、昭和期らしい高い天井が特徴です。2階に配された高欄が、近代商家らしい華やかさを感じさせます。



左沢横町

### 12 安彦こうじ店

現代の当主は7代目で、19世紀初めころから糰屋を営んでいたと伝わります。店舗は角地に面して面取りをした独特の形状をしており、柱を真壁造で露出した2階外壁などが、古い商店建築の形式を伝えています。



左沢横町